

(参考) 北九州高専の教員が携わる授業以外の職務概要

平成16年4月より、全国55の国立高等専門学校は、法人化されて、独立行政法人国立高等専門学校機構として再編され、北九州工業高等専門学校もその一組織となりました。本校には、本科(5年)と専攻科(2年)があります。現在、わが国の高等教育機関には大きな変革の波が押し寄せており、本校も改革に全校あげて取り組んでいます。また、高専はその教育目標や学生の年齢層(本科:15~20歳、専攻科:20~22歳)の幅広さなどから、大学や高等学校とは本質的に異なる点があります。すなわち、高専の教員は、教育、研究、学校運営、学生の生活指導などすべてをこなさなければなりません。以下では、北九州高専の教員の授業(実験実習等を含む)以外の職務についての認識を深めていただくために、主な職務の概要を記します。

(1) 学級担任

学級担任は、一学級40人程度の学生への勉学や生活指導など、学生生活全般にわたるきめ細かな指導を行います。例えば、毎日、朝のショートホームルームや教室清掃の指導を行い、体育大会や高専祭(文化祭)など各種行事での学生指導、学生の個人面談や保護者との懇談なども行います。

(2) 学校運営のための各種委員会

教務委員会、厚生補導委員会、学生寮委員会をはじめ、各種の委員会があり、教員は委員として学校運営に参加します。学級担任との兼務あるいは複数の委員会に所属することもあります。すべての教員は何らかの委員会に所属し、委員会の業務を分担して行います。例えば、学生寮委員は寮内の巡回、寮生の日常生活の指導、寮での各種行事・寮生会所属の学生の委員会活動の指導などの職務があります。

(3) 研究

高専の教員は、最先端の教育を行うために研究することを法律で義務づけられています。教員には、研究に対する意欲的な姿勢と研究成果を教育や地域社会への貢献につなげることが期待されています。

(4) クラブ顧問

ほぼ全ての教員が、クラブ顧問としての日常的な課外活動指導をはじめ、各種コンテストまたは高専体育大会(地区大会・全国大会)の運営や高体連などの各種大会および練習試合の引率の指導などを行っています。

(5) 学生寮の宿日直

本校では、原則として全教員に学生寮の宿直が割り当てられています。学生寮委員以外は年数回の割り当てですが、本校は女子寮も設置されており、女性教員による宿直もあります。

(6) 社会貢献

本校では、共同研究、受託研究、公開講座、出前授業など様々な形で地域連携活動を展開しています。地域社会からも様々な形で本校に対する要望が寄せられます。地域連携活動が学生教育へ及ぼす効果に加え、地域に根差した高専としての存在を高めるためにも、高専教員には積極的に地域社会に対して貢献する姿勢が要求されます。